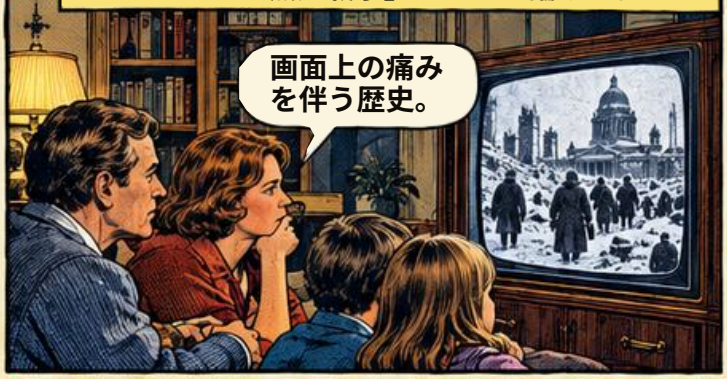
PETER DAVID BETER・音声書簡 第38号

1978年9月29日

テーマ1 ロシア、ボリシェヴィキを廃絶へ聖戦の危機

1 ベターは、ソ連の戦争苦悩を示すドキュメンタリーシリーズ「無知戦争」について論じた。



2 彼は、限られたテレビ放送をロシアに対する態度の変化と解釈した。



3 彼は、自分が「精神共産主義者」と呼んでいる派兵を、ロシアを密かに支配したと主張する。



4 彼は1917年の革命までボリシェヴィキとの同盟を追跡した。



5 ボリシェヴィキ政権に反対する信者の迫害が党を駆り立てたと、ボリシェヴィキは語った。



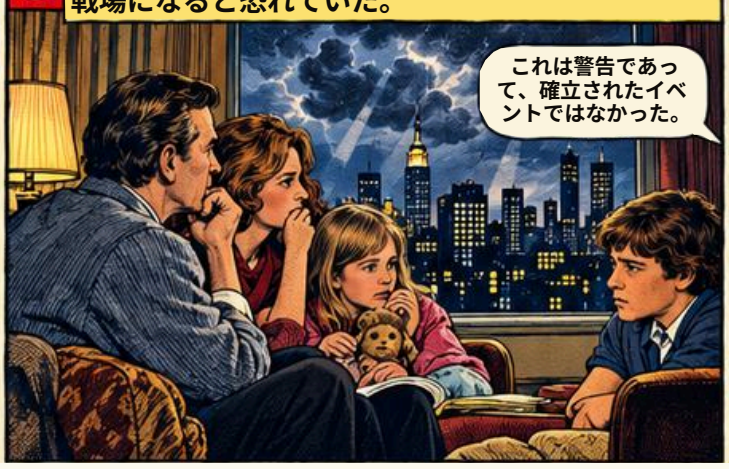
6 1953年にスターリンが亡くなったことを、秘密闘争の転機として描いた。



7 彼の物語は、選挙運動を権力獲得、ライバルの排除、世界的戦争に分けた。



8 彼はアメリカが予測最終段階の主要戦場になると恐れていた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第38号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第38号

1978年9月29日

テーマ2 ロシア、地球支配の青写真を発表



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第38号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第38号

1978年9月29日

テーマ3 ロシアが宇宙へ人類を打ち上げる計画

1 ベターはアメリカのセミナーで難しい問題を解決するロシアの科学者を思い出しました。



2 彼は、ソビエトの研究者が西洋では無視されることが多かった分野を調査すると主張した。



3 彼は1908年のトングスカ爆発を、珍しい理論の出発点として挙げた。



4 ソ連の研究は、宇宙船の説明に損害を与えたと主張した。



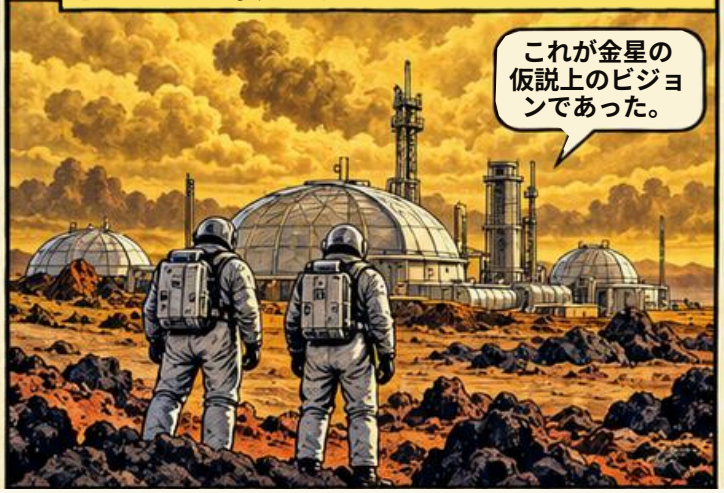
5 彼はまたUFO報告書と他の文明の可能性についても論じた。



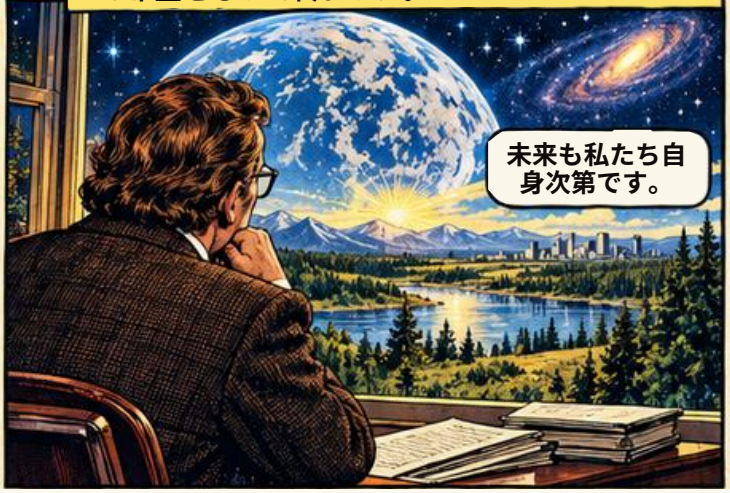
6 彼の説明では、ソ連の研究者は最終的に恒星間旅行を望んでいた。



7 金星は実験的植民地化のために選ばれたと主張する。



8 彼は精神的な再生と、地球を越えて未来への希望をもって終わった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第38号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。